

# 口腔顎顔面矯正学分野 特別講演のお知らせ

審美性および生物学的安定性を得るための  
歯周病専門医と矯正専門医の連携について

**日 時** : 2016年1月27日(水) 16:30~

**場 所** : 歯学部4F 示説室

**演 者** : 岩田 光弘 先生

岡山市北区開業

医療法人社団さくらデンタルクリニック理事長

## 講演抄録

日常臨床では、初期のう蝕や歯周病など、複雑な治療計画を必要とせず、各専門分野単独で対応可能な症例も多い。ところが、中等度以上の歯周病で、歯の欠損や不正咬合をともなった複雑な状態で受診する患者もあり、このような場合、その対応方法は多様で、患者の希望や、術者側の提供できる治療オプションによっても、治療方法は大きく異なってくる。特に、インプラント治療や審美修復、あるいは歯周組織再生療法など、外科的な侵襲をとめない、治療期間や治療費がかかる治療方法を選択した場合、患者の期待も大きく、治療結果の長期的な安定は、強く望まれるだろう。治療結果の長期安定を達成するためには、歯の欠損や骨欠損だけに注目するのではなく、現状に至った原因を考察し、包括的な診断、治療計画を策定する必要がある。近年、歯周治療、補綴治療、矯正治療など、様々な分野において、診断機器や治療技術、材料などが飛躍的に進歩し、今まで不可能だった診断や治療が可能となり、患者のQOLの向上に大きく貢献できるようになった。しかしなら、各専門分野がいかに密に連携がとれるかが重要であり、包括的な治療計画の成功のかぎとなると考えられる。

今回、不正咬合をともなう、中等度以上の歯周病患者や歯の欠損患者に対して、治療結果の長期的安定を得るために、歯周病専門医と矯正専門医の間でどのように診断し、治療ゴールを設定するかを、文献的な考察も交えて、そのコンセプトを述べさせていただき、包括的な治療戦略を考えるうえでのお互いの連携について解説したい。

尚、本特別講演は大学院口腔科学教育部特別講義を兼ねていますので、大学院生の御来聴を歓迎致します。

**連絡先** : 口腔顎顔面矯正学分野 田中 栄二

(088-633-7357 内線5291)

etanaka@tokushima-u.ac.jp